



2学期終業式の話

2017年、平成29年も、あと9日間となりました。

9月からこの4か月、日にちで数えると113日間。中牟田小の誰一人も、事故や事件で命を落とすことなくこの日を迎えました。皆さんを見守ってくださる家族の皆さん、地域の方々に心から感謝し、そして、自分自身を守ってきた皆さんに、ありがとうと言いたいです。今日は、三つの話をします。

一つ目は、2学期の始業式にお話した目標を持つということです。自分に合った2学期の目標・めあてを決めて、コツコツと努力を積み重ねていってほしいと言う話をしました。

皆さんの教室の後ろには、一人ひとりの2学期めあてが貼られていました。そして、みなさんがそのめあてに向かって、努力している姿がよく伝わる学期になりました。今日、担任の先生から頂く通知表には、その成果が書かれていると思います。うまくいかなかったことは、どこをどのようにしたらいいのか担任の先生と相談して、冬休みや3学期に取り組んでくださいね。



二つ目は、説明することの大切さです。皆さんの問題を解いたときに、分からないことをしっかりと友達に聞く姿は、とても素晴らしいと思います。なぜなら、皆さんは、いろいろなことが分からないから学校に来ているのです。これからも、算数だけではなく、いろいろな勉強をして、分からないところがあったら、どこが分からないかをはっきりさせて、先生やお友達に聞いてください。

三つ目は、12月14日に行われた持久走大会のことです。持久走は、自分に合った無理のない速さを保ちながら、長い距離を走って心肺機能を向上させたり、きついことに負けない強い精神力を育てることをねらいとする運動です。当日は、皆さん全員が、これまでの自分の記録を上回ろうと努力している姿に、お家の方々の熱い声援を頂きました。また、皆さんの心のこもった応援もとても素晴らしかったです。



皆さんは、この持久走を通して、目標に向かって努力することの大切さを学んだと思います。これからの学校生活に活かしてくださいね。

冬休みは、17日間あります。ぜひ、家族の一員として、お家のお手伝いも頑張ってくださいね。

ひとりごと ～真の思いやりとは～

11月21日の健康委員会の料理教室の出来事です。料理教室が終わり、参加された保護者がてきぱきと後片付けをされていました。そこで、私は、ゴミ袋を二つ、ゴミ集積所に持っていくことにしました。掃除の時間だったので、子供達はいつものように一生懸命掃除をしていました。

膝が痛かったのでゆっくり階段を降りていると私の前に、6年生の男の子が現れました。その子は私に、「校長先生、ゴミ袋を持っていきましょうか。」とってくれました。私は、「ありがとう。大丈夫ですよ。」と返しました。そして、階段をやっと降りきったところで、次に、5年生の女の子が現れました。その子は、私が持っていたゴミ袋をさっと持っていなくなりました。私は、何が起こったのか、最初は分かりませんでした。直ぐにその子は、戻ってきて、「校長先生、ゴミは捨ててきました。」と言い、何もなかったように、また掃除を始めました。

困っている人に、真の思いやりで接することができる子供達に、幸せな気持ちになりました。